

MaxxMill[®] マックスミル

「高エネルギー密度下での粉砕」を実現した媒体攪拌ミル

- アイリッチミキサーの混合技術に基づき設計された、画期的な構造の高効率ミル
- 高エネルギー密度下での粉砕を実現
- 攪拌ツール、粉砕容器が回転することで粉砕メディアに効果的にエネルギーを伝達
- 鉄コンタミフリー対応(セラミックスライニング標準仕様)
- 省スペース、高粉砕効率
- 粉砕原料替えの際の高い清掃性
- 摩耗部品への簡単なアクセス・交換可能
- 乾式・湿式粉砕に対応可能
- 高濃度スラリーでの運転が可能

用途例

- | | |
|---------|-----------|
| - タイル原料 | - 炭酸カルシウム |
| - ガラス原料 | - 顔料 |
| - 長石 | - フェライト |
| - 釉薬 | - ベントナイト |
| - 磁器原料 | - ポーキサイト |
| - 粘土 | - 石膏 |

等々

日本アイリッチ株式会社

〒451-0045 愛知県名古屋市西区名駅3-9-37
合人社名駅3ビル

Tel 052-533-2577 Fax 052-533-2578

Email eigyo@nippon-eirich.co.jp

<http://www.nippon-eirich.co.jp/>



MaxxMill[®]MM3 乾式粉砕設備



MaxxMill[®]MM5 マックスミル

MaxxMill[®] マックスミル

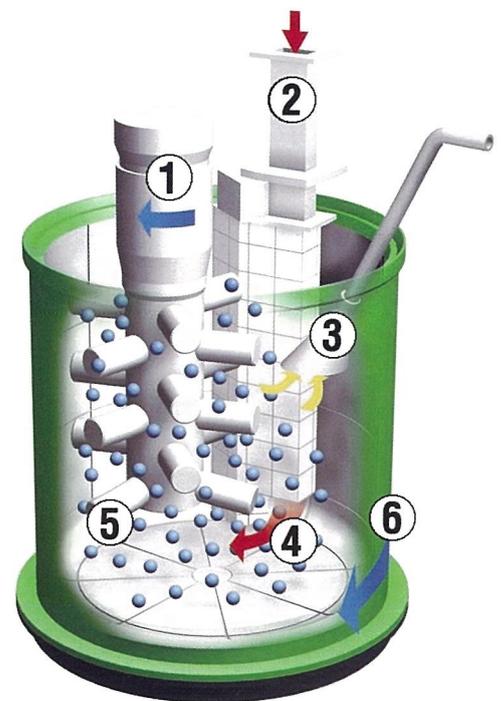
「高エネルギー密度下での粉碎」を実現した媒体攪拌ミル

■ 機器の構成

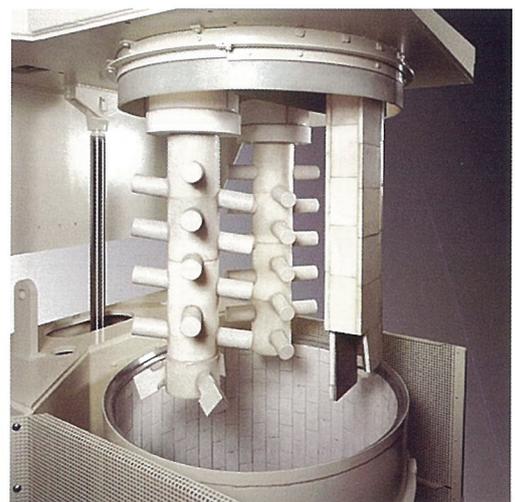
- 1) Eccentric agitator (偏心アジテータ)
回転する攪拌ツールにより強力に粉碎
メディアを攪拌
- 2) Stationary flow deflector with material feed (固定式フローディフレクタ)
壁面部の被粉碎物および粉碎メディアを効果的
に粉碎ゾーンに送る
- 3) Ground product discharge (粉碎品排出口)
乾式粉碎: 粉碎メディア表面からの吸引
湿式粉碎: スクリーンカートリッジまたは回転
リングギャップでのメディアの分離
- 4) Raw material inlet (原料投入口)
原料は粉碎容器底部に供給。供給された粉碎
原料は粉碎容器の回転およびフローディフレクタ
により粉碎ゾーンに送られる
- 5) Grinding media (粉碎メディア)
高い粉碎能かつ低摩耗の EIKORIT[®]
(セラミックスボール)および
EIDURIT[®](クロム鉄ボール)を採用
- 6) Rotating grinding chamber (粉碎容器)
高速攪拌ツールに対して順方向に回転

■ ライニング仕様

接粉部のライニング材としてセラミックスライニング、
ポリウレタンライナ材(湿式のみ)の選択が可能です。



MaxxMill[®] 構造図



MM5 型 セラミックス仕様